

奄美大島って、どんなところ？ ケンミンに会ってみたい！ ネリヤカナやってどこにあるの？

奄美の不思議な物語



南島叢書 99  
アマミゾの  
彼方から  
鳥居真知子 著



小学4年生から  
読んで  
いただけます。

海風社 図書出版

tel 06-6541-1807

推薦!

奄美大島の深層を少年の視線で描く!

南海日日新聞

特別編集委員 松井輝美(帯)

奄美大島の深層でそよぐ言葉がある。

「ガナシ」「ナグルサ」。

両親や先祖、自然の神々を敬い、深い尊敬と感謝、哀切を添えたのがガナシ。ナグルサは胸絞る切ないほどの人や風景、唄、記憶など。

言葉を失った少年が島に戻り、自然の神々や先祖と呼応する暮らし、ノロやユタ、伝統の祭りなどを体感。言葉を取り戻し、成長していく。

著者はアマミゾ(水平線)から憑依したのであろう島の深層部分をガナシとナグルサを抱いて描く。

定価 1,650 円 (本体 1,500 円) 140 頁 A5 判 並製

家に戻ると、ジューとアンマが門で、しゃがんでいた。もみがらを置き、ウジクサを加え、その上にオキビ(木の燃えかけ)をのせて、くすぶらせていた。これで、冷たい海の上を、七日間歩いてきた父さんの足を温めるのだ。僕は、ジューとアンマと一緒に、火が消えないように、夜遅くまでオキビを、足し続けた。

(第4章父さんと会って「シバサシのお祭り」より)

著者略歴 鳥居真知子(とりいまちこ)

1951年三重県生まれ、兵庫県の芦屋で育つ。1974年甲南大学文学部卒業。結婚後、神戸に住む。子育ての合間に児童文学を書き、「おはようおじさん」が三木市立図書館でビデオ化される。1992年甲南大学大学院入学。終了後、同大学と神戸山手女子短期大学で非常勤講師として勤め、退職後、再び児童文学を書き始める。研究著書に『我々は何処へ行くのかー福永武彦・島尾三ホ作品論集』(和泉書院)、共著に『時の形見に』(白地社)、『南島へ南島から』(和泉書院)、『島尾敏雄』(鼎書房)。児童文学としての著書に『赤い屋根』(BL出版)、『ピラカンサの実るころ』(読売ライフ)、『あした咲く花』(読売ライフ)、『アマゾンへじっちゃん』(海風社)がある。

奄美では水平線のことをアマミゾと呼ぶ。奄美の海で、嵐に遭い、父が行方不明となったその時から、言葉を失い、心が壊れてしまった少年が、シマでの生活のなかで、少しずつ立ち直っていく再生の物語。

物語は奄美大島の伝統的な祭りを軸に、ノロやユタ、ケンムンなどが登場し、「生と死」、神様を身近なものとして生活のなかに豊かに取り込む精神世界を時々織り交ぜながら印象深く進んでいきます。

あえて平易な表現にこだわり、幅広い世代に読んでいただけるようにしました。

Amazonでもご注文頂けます。

注文書	お名前	注文数	鳥居真知子 著
	ご住所		南島叢書 99
月	ご連絡先(電話番号など)	冊	アマミゾの 彼方から
		冊	アマゾンへじっちゃん
日			定価 1,650 円 (本体 1,500 円+税) 140 頁 A5 判 並製 ISBN978-4-87616-067-9 C0093 ¥1500E
			【児童書】 ISBN978-4-87616-066-2 C8093 ¥1400E 本体 1,400 円+税 130 頁 A5 判 並製
			海風社 〒550-0011 大阪市西区阿波座 1-9-9-701 TEL06-6541-1807

海風社

大阪市西区阿波座1-9-9 阿波座パークビル 701 ☎06-6541-1807 http://www.kaifusha.co.jp/ 振替00910-2-30006

ファックスでご注文いただきますと送料無料です。  
※恐れ入りますが、振込手数料をご負担ください。

☎ ご注文は FAX: 06-6541-1808